イベント・リポート

おかげさまで大盛況～産業まつり～

8月27日・28日の両日、滝沢市役所駐車場で開催された「第34回産業まつり」に、今年は上下水道部も出展しました。

耐震管や、「ろ過の仕組み」などの展示コーナーをメインに、子供向け工作コーナーでは水道管を使った水鉄砲づくりや浮沈子（水のおもちゃ）作りを行い、2日間で約300組の親子や来場者にお越しいただきました。毎日、当たり前のように使う水道水ですが、改めて学んでみる良い機会になったと思います。ご来場の皆様、本当にありがとうございました！

テント内は常に来場者でいっぱい↓

↑模型で「ろ過」の仕組みを学ぶ来場者

おしえて！水道博士！

水道なんでもQ&A

Q 水道水に塩素が入っているのはナゼですか

A 塩素と聞いて思い浮かぶのは、学校のプールの消毒剤や台所の漂白剤じゃろうな。

実はこれと同様のものが水道水にも入っているのじゃが、これは日本の法律で、蛇口の時点で残留塩素（消毒用に入れた塩素が残っている割合）が、水道水1ℓあたり0.1mg以上あること、と決まっているからなのじゃ。だから、日本ではどんなに綺麗な水を原料にして水道水を作っても、塩素で消毒して家庭に届けないといけないのじゃよ。

ちなみに、WHO（世界保健機関）の基準では、日本の基準よりはるかに多い5mg／ℓを、生涯飲み続けても健康への影響が出ない値としているのじゃ。つまり、塩素は安全で、効果的な消毒なのじゃよ。

塩素はO-157のような、人に重大な影響を与える大腸菌などを瞬時に滅菌してしまうのじゃ。塩素が入らない水を使うよりはるかに安全なのじゃよ。安心して使うのじゃ。

みずいろひろば

●私はこれで困ってます

※メーター周辺に物を置かないで下さい。

※検針員の安全確保にご協力下さい。

お知らせ

■平成29年4月から、水道・下水道の料金徴収などを民間委託します

滝沢市では、利用者サービスの向上と経営の効率化を図るため、平成29年4月1日から受付窓口、水道料金等の収納や、水道の開栓・閉栓などの業務を民間に委託します。

委託後は、市役所敷地内の旧滝沢市公民館内に、『滝沢市上下水道お客様センター』を開設いたします。なお、電話番号等詳細については平成29年2月ごろに別途ご案内する予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●委託業務の内容

・水道使用・中止などの受付業務
・水道料金・下水道使用料などの収納業務
・水道の開栓・閉栓業務
・納入通知書などの発行業務　など

●委託業者　フジ地中情報株式会社北東北支店（盛岡市高松二丁目17番24号）

クイズに答えて

岩手山の恵み『滝沢の湧水』をもらっちゃおう！

クイズ

滝沢市が、水道管の耐震化に取り組んでいるのはいつから？

① 平成28年
② 平成11年
③ 平成23年

クイズに正解した方の中から抽選で5名様に、ペットボトル水「滝沢の湧水」6本セットをプレゼントいたします。

【応募方法】ハガキに、住所・氏名・年齢・クイズの答え・水道たきざわの感想をご記入のうえ水道経営課宛にご応募ください。

【締め切り】平成29年1月31日当日消印有効

【送付先】〒020-0692　滝沢市中鵜飼55番地

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

UD FONT　R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。